



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754  
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>  
共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)



第321号

2017年6月12日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

## 危機管理監はなぜ自衛官なのか

6月議会が12日から始まります。服部新市長は選挙公報で、「自衛官による防災危機管理監の常駐実現」を公約に掲げました。また、別の配布物では「近い将来予想される大災害や様々な災害に備えて、自衛官による防災危機管理監の常駐を実現します。」と述べています。

現在、八千代市の危機管理監は、安全環境部の次長が兼務しています。なぜ、現在の危機管理監ではいけないのでしょうか。なぜ、自衛官でなければならないのでしょうか。

## 必要なら公正な試験採用の実施を

八千代市は危機管理監の役割を「地震・風水害といった自然災害に限らず都市型災害、さらには重篤な事故・事件などを防止し、事態を迅速かつ的確に把握し判断・対処すること」と述べています。これまで八千代市で危機管理監の職務が重大な支障をきたしたことはありません。

仮に専門的知識がもっと必要であれば、専門的研修の受講などで計画的に養成することもできます。外部から採用するとした場合でも、専門知識を持つ人を公募し、公正な試験・審査を実施して採用することが必要ではないでしょうか。

退職する一般自衛官の再就職を進めることは必要です。しかし、自衛隊の権力を背景に特別扱いして就職させることは別の問題です。



## 実態は自衛隊の天下り先ポストに

すでに退職自衛官を防災危機管理監として採用している習志野市や浦安市では、一度採用すると、そのポストは事実上自衛隊の天下りポストとなり、前の人が退職すると自動的に後任の退職自衛官が就任するという実態があります。しかも市長の意向で行われ議会にもはかられません。

こうした背景には、55歳程度で早期退職する自衛隊幹部の再就職斡旋問題があります。退職自衛官が全国の地方公共団体の防災関係部局に在職している人数は、400名に上ります（「退職自衛官の地方公共団体防災関係部局における在職状況」2016年12月31日現在）。千葉県内でも県と11市に13名が在職しています。

退職自衛官による危機管理監採用は、専門知識を生かすというより自衛隊の退職対策になっているのが実態です。